

2023年4月6日

報道各社 御中

連合熊本「2023春季生活闘争」第一回賃上げ回答集計結果について

日頃より連合運動に対し、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。
さて、2023春季生活闘争につきまして、熊本県内の賃上げに関する第一回目の集計を行いましたので、結果を報告いたします。

【概要】

○全国では比較可能な2013闘争以降もっとも高い3.7%を超える賃上げ

平均賃金方式で回答を引き出した2,484組合の加重平均は11,114円・3.70%（昨年同時期比4,795円増・1.59ポイント増）、うち組合員300人未満の中小組合1,528組合の加重平均は8,554円・3.42%（同3,429円増・1.36ポイント増）となった。いずれも、比較可能な2013闘争以降で最も高い集計となっている。

○熊本県でも29年ぶりに3%を超え、300人以上では10,000円を超える賃上げ

熊本県全体の賃上げ額は9,304円・3.44%（昨年同期比+3,693円・1.35ポイント増）、300人以上で10,459円・3.70%（昨同期+4,120円・1.46ポイント増）となり、全国集計と同じ賃上げ率で、10,000円を超える賃上げとなった。第一回目の集計ではあるが、3%を超えるのは29年ぶりの状況である。また、300人未満でも、7,049円・2.96%（昨同期+2,605円・1.10ポイント増）であり、昨年全国の集計を超える状況となった。

○9割を超える組合がベースアップを獲得

熊本県内で回答のあった46組合のうち、ベースアップ（賃金改善）を獲得した組合は、43組合となり9割を超えた。また、すべての業種でベースアップが実施されているが、けん引したのは「自動車・船舶」などの製造業、また、コロナ禍の影響を受け特に厳しいとされた人流に関わる「交通運輸」部門でも報告のあった13すべての組合でベースアップが実施されている。「商業・流通」と、注目される「半導体」関連組織からの報告は今後上がってくる予定。

今回の集計でも、人材の確保や流出防止の観点から、昨年同様に「初任給の引き上げ」、「ベア」の獲得や妥結見込みといった報告が多く、一部では組合要求以上の回答や、生活困窮特別手当の獲得など、昨年以上にその傾向が強いという報告が上がっている。

○熊本県の中小地場組合の交渉はこれからが本番

中小地場組合の交渉はこれからが本番である。熊本でも現時点で高い水準となっているのは、先行組合が作り出した「賃上げの流れ」をしっかりと引き継ぎ、組合員の生活の安定や「人への投資」と月例賃金にこだわった粘り強い交渉を行った成果と受け止めており、連合熊本は引き続き、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」に向けた取り組みを強化し、構成組織とともに、未解決組合の交渉を支援していく。

以上

※今後の公表予定

- ・5月11日（木）第2回回答集計結果
- ・6月6日（火）第3回回答集計結果

《問い合わせ先》

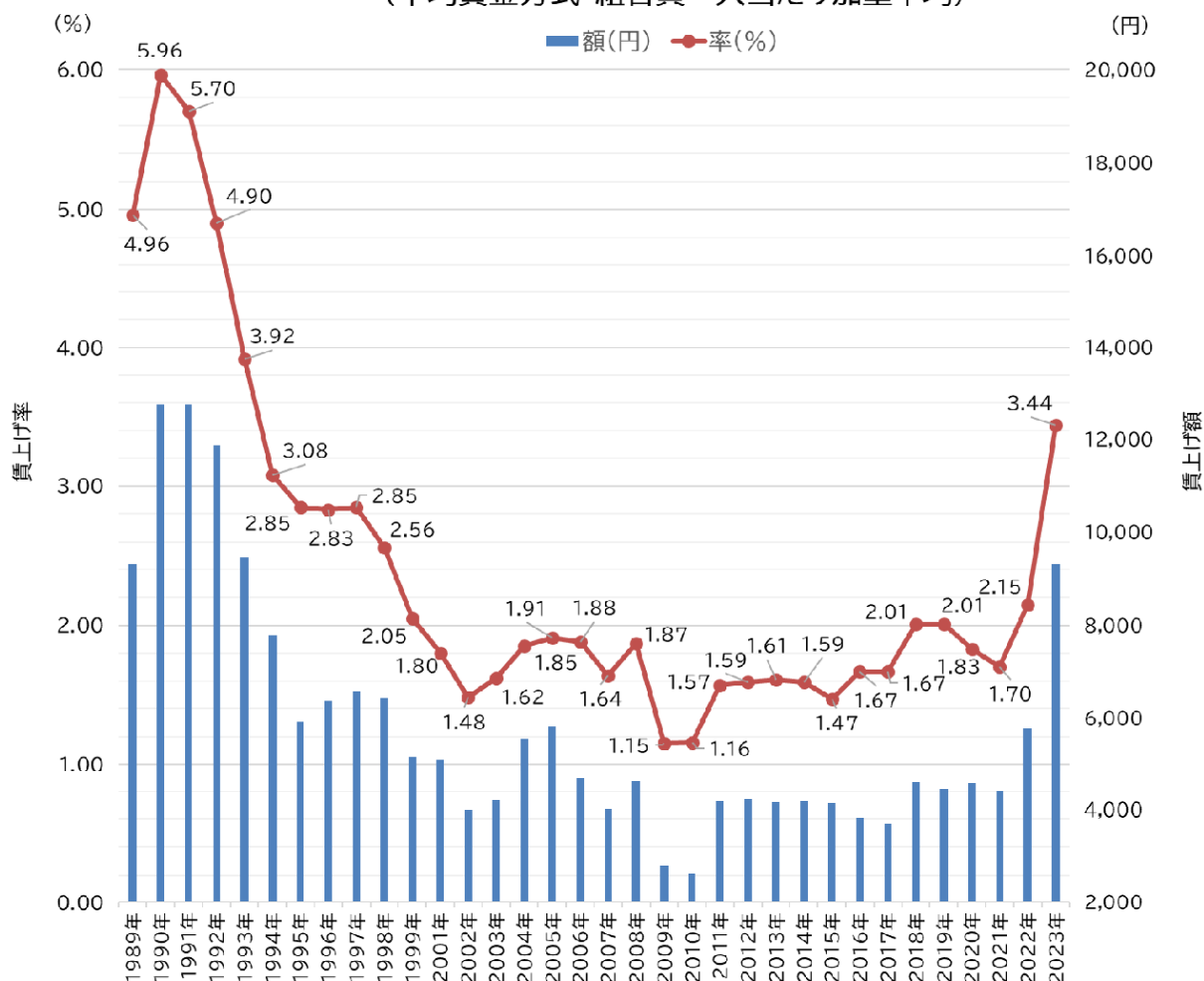
連合熊本 副事務局長 猿渡

電話：096-375-3811



【参考資料】

連合熊本 賃上げ集計推移
(平均賃金方式・組合員一人当たり加重平均)



※ 2023年以外は最終集計の数値



2023春季生活闘争 賃上げ回答集計

2023年4月5日現在

全国集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2023回答 (2023年4月5日公表)			昨年対比	2022回答 (2022年4月5日公表)		
	組合数	定昇相当分込み	定昇相当分込み		組合数	定昇相当分込み	定昇相当分込み
	組合員数	賃上げ計	賃上げ計		組合員数	賃上げ計	賃上げ計
	2,484 組合 2,262,647 人	11,114 円	3.70 %	4,795 円 1.59 ポイント	2,189 組合 2,173,358 人	6,319 円	2.11 %
300人未満	1,528 組合 164,659 人	8,554 円	3.42 %	3,429 円 1.36 ポイント	1,366 組合 149,362 人	5,125 円	2.06 %
300人以上	956 組合 2,097,988 人	11,325 円	3.72 %	4,912 円 1.60 ポイント	823 組合 2,023,996 人	6,413 円	2.12 %

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

熊本集計		組合員数による加重平均					
平均賃金方式	2023回答 (2023年4月6日公表)			昨年対比	2022回答 (2022年4月6日公表)		
	組合数	定昇相当分込み	定昇相当分込み		組合数	定昇相当分込み	定昇相当分込み
	組合員数	賃上げ計	賃上げ計		組合員数	賃上げ計	賃上げ計
	46 組合 10,824 人	9,304 円	3.44 %	3,693 円 1.35 ポイント	41 組合 9,453 人	5,611 円	2.09 %
300人未満	30 組合 3,445 人	7,049 円	2.96 %	2,605 円 1.10 ポイント	28 組合 3,083 人	4,444 円	1.86 %
300人以上	16 組合 7,379 人	10,459 円	3.70 %	4,120 円 1.46 ポイント	13 組合 6,370 人	6,339 円	2.24 %

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

賃上げ分が明確に分かる組合の集計 (熊本集計)

平均賃金方式	2023回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2022回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	計	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
全体	43 組合 10,548 人	額(円) 9,479 率(%) 3.51	3,232	6,372	27 組合 7,234 人	額(円) 5,585 率(%) 2.11	4,129	1,557	0.58	
300人未満	27 組合 3,169 人	額(円) 7,394 率(%) 3.12	3,077	4,287	16 組合 2,085 人	額(円) 5,146 率(%) 2.13	3,743	1,609	0.63	
300人以上	16 組合 7,379 人	額(円) 10,459 率(%) 3.70	3,304	7,268	11 組合 5,149 人	額(円) 5,830 率(%) 2.11	4,345	1,536	0.56	

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2023回答と2022回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

前年・前々年最終集計

平均賃金方式	2022回答 (組合員数による加重平均)					【参考：前年同期】2021回答 (組合員数による加重平均)				
	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	計	組合数	計	定昇相当分	賃上げ分	
	組合員数					組合員数				
全体	72 組合 17,556 人	額(円) 5,774 率(%) 2.15	4,418	1,367	60 組合 12,455 人	額(円) 4,420 率(%) 1.70	4,170	585	0.24	
300人未満	53 組合 5,923 人	額(円) 4,688 率(%) 1.94	3,766	923	46 組合 5,085 人	額(円) 4,040 率(%) 1.70	3,831	702	0.29	
300人以上	19 組合 11,633 人	額(円) 6,566 率(%) 2.32	4,894	1,594	14 組合 7,370 人	額(円) 4,674 率(%) 1.69	4,386	520	0.20	

※ 「定昇相当」と「賃上げ分」のいずれかが未記入の組合もあるため、「計」は「定昇相当分+賃上げ分」と一致しません。

※ 2022回答と2021回答は、集計組合が異なるため、単純比較はできません。

以上